

衆議院内閣委員会ニュース

平成 26.11.13 第 187 回国会第 11 号

11 月 13 日（木）、第 11 回の委員会が開かれました。

1 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律案（内閣提出第 22 号）

- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）株式会社ワーク・ライフバランス代表取締役社長	小 室 淑 恵君
独立行政法人労働政策研究・研修機構副主任研究員	内 藤 忍君
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社	
女性活躍推進・ダイバーシティマネジメント戦略室室長	矢 島 洋 子君

（質疑者及び主な質疑内容）

吉 川 越君（自民）

- ・政府は2020年までに国家公務員の男性の育児休業取得率を「政府全体として13%となることを目指す」としているが、この目標値の妥当性や男性の育児休業取得促進に向けての方策について、小室参考人の見解を伺いたい。
- ・女性の活躍を推進していくため、職場内の情報共有の問題やワークシェアリング等の問題をクリアできるような取組について、小室参考人及び矢島参考人に伺いたい。

郡 和 子君（民主）

- ・女性活躍のためには男女間の賃金格差を是正することが大前提と考えるが、厚生労働省作成の「男女間の賃金格差解消のためのガイドライン」で示されている労使の取組について、内藤参考人の見解を伺いたい。
- ・マタニティーハラスメントをはじめとするハラスメント対策について、諸外国における知見を内藤参考人に伺いたい。

高 橋 み ほ君（維新）

- ・女性の活躍を推進するには異動や転勤の問題を解消する必要があると考えるが、矢島参考人の見解を伺いたい。
- ・結婚・出産等により退職した女性が再就職して活躍するにはどのような政策が望まれるのか、各参考人の見解を伺いたい。

奥 水 恵 一君（公明）

- ・我が国が、労働力人口の減少による人口オーナス期にあることに対応して、女性が活躍できる社会を早急に実現しなければならないと考えるが、その緊急性はどのくらいあるか、小室参考人の見解を伺いたい。
- ・本法案では各企業の取組を公表することとなっている。企業が平均残業時間や有給休暇取得率等を公表することは、働きやすく、生産性の高い社会の実現にも資すると考えるが、各参考人の見解を伺いたい。

畑 浩 治君（生活）

- ・本法案に基づき、企業が「事業主行動計画」を策定する際、労働者の意見を反映させるため、労働組合から意見の聴取を行うべきではないかと考えるが、内藤参考人の見解を伺いたい。
- ・ワーク・ライフ・バランス推進のため、有給休暇の取得を促進することが必要と考えるが、小室参考人及び矢島参考人の見解を伺いたい。

三 谷 英 弘君（みんな）

- ・我が国の商慣行はサービス過剰な面があり、それが長時間労働につながっていると考えるが、改善すべき点と合わせ、各参考人の見解を伺いたい。
- ・「非正規労働者」という文言はマイナスのイメージを想起させる。自由度の高い労働の在り方という観点から、正規・非正規という区分を変えていく必要があると考えるが、内藤参考人の見解を伺いたい。

宮 本 岳 志君（共産）

- ・我が国は女子差別撤廃条約を批准しているにもかかわらず、同条約が求めている取組が進んでいないが、

その原因について内藤参考人の見解を伺いたい。

- ・非正規雇用の女性の雇用環境の実態に関する所見及び解決糸口としてどのような取組が必要か、小室参考人に伺いたい。

杉 田 水 脈君（次世代）

- ・我が国ではIT改革後も、労働時間の短縮が進んでいないが、その原因は何であるのか、各参考人の見解を伺いたい。
- ・厚生労働省作成の「男女間の賃金格差解消のためのガイドライン」では、男女間の賃金格差の原因を「男女の平均勤続年数や管理職比率に差異があること。」としていることに疑問を感じるが、内藤参考人の見解を伺いたい。